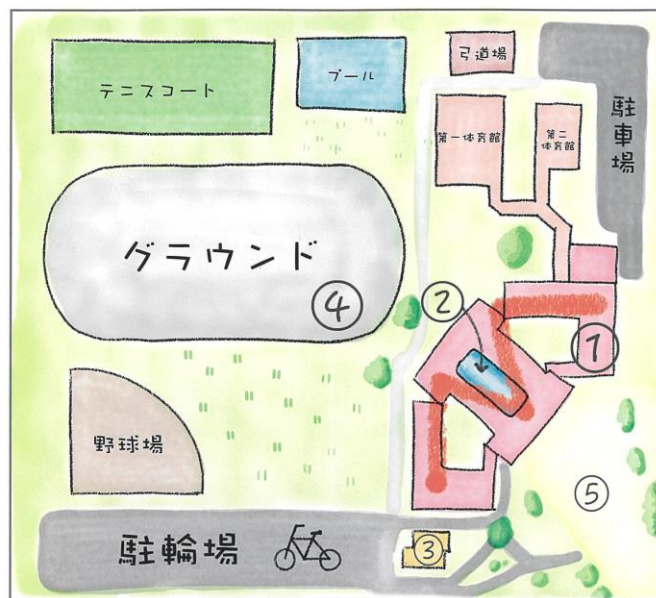




必見
めざせ！西高マスター

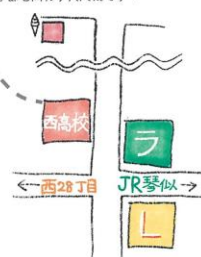
西高ものしりマップ



①校舎はWの形になっている。一周回れるようになっていて、のど、もし迷ったら、とにかく進む。
②アトリウムと呼ばれる校舎中央にある吹き抜け。ダンス同好会や、オーケストラ部の発表、通称アトリウムパフォーマンスが行われる。
③輔仁会館という西高の同窓会館。演劇部と邦楽部の活動場所でもあり、軽音部のライブ等でも使われている。
④グラウンドは普通段の体育の授業以外にも運動会や球技大会でも使われる。陸上部やサッカー部等の活動場所。正門とエントランスの間には西高の大先輩の彫刻作品が多く飾られている。校舎内にも狂巻の絵画などが飾られている。

Look at around the school!

Barnes
お寺の向かいにあるソフトクリームやさん。季節を問わず大人気です！



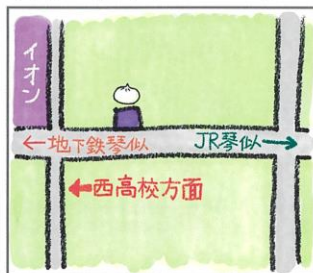
ラッキー山の手店
部活の後に訪れる人が多く、クラスメイトと遭遇することもしばしば。学業時期にもお世話になります。

ロッセリア
午前授業の時に食事をする西高生を多く見かける。学校周りの学生を誘惑するお店の一つ。



▲地下鉄西28丁目方面

ミスタードーナツの森店
おしゃれな外見でドーナツの種類も豊富！
ついについ引き寄せられます。
去年でまたばかりのパッパルと食べるミルクのお店とにかわいしやれ！



▲地下鉄・JR琴似方面

茶寮
絶品肉まんが売っている中華まんやさん。ごろごろの具材が魅力的。



Hokkaido Sapporo
Nishi High School

大好き！西高

北海道札幌西高等学校

〒064-8624 札幌市中央区宮の森4条8丁目1番地

TEL 011-611-4401 / FAX 011-611-4403

【交通のご案内】

地下鉄東西線「西28丁目」下車 徒歩15分

JR北海道バス／西21、循環西20、循環西21、琴40、琴46「西高校前」下車 徒歩2分

【原画制作】美術部2年生 寒河江 珠希/矢野 ひなた/伊藤 心海/坂本 水尋



北海道札幌西高等学校 2025

<http://www.sapporonishi.hokkaido-c.ed.jp>



いたさわ りんすけ
板澤 倫輔さん
3年3組(札幌市立宮の森中学校出身)
ハンドボール部 部長

【西高の魅力は?】

西高の魅力は「自分を表現できる」ことだと思います。私服で登校できることや校則が少ないことからたくさんの選択ができます。また、西高にあるたくさんのユニークな行事は自分を表現する最高の機会です。こんなに自己を大切にできる学校は少ないんじゃないかなと思います。

また、西高生みんながどんなことにも全力で取り組むのも魅力の一つです。西高生は行事の始まるかなり前からこのクラスも一丸となって楽しんでいます。学校祭ではクラス展示や重れ幕、行燈など、計画から自分たちで考えるのでとてもやりがいがあります。もちろん、行事を楽しんでいても勉強も厳ろさず。勉強も行事も本当に全部に120%を尽くしています。

【高校の勉強は大変?】

高校に入って初めに感じたのは何よりもテストが多いということです。西高では毎週初めに英単語のテストがあって、点数が悪いと追試になることもあります。勉強の内容も中学校の時に比べてより難しいものになり、少し気を抜くと置いていかれてしまうこともあります。僕は高校に入りたての頃、勉強と部活の両立がうまくできず、あまり良いスタートダッシュが切れませんでした。そんな僕でも先生方のサポートもあって、勉強も部活も行事も全部全力で楽しむことができました!確かに中学校に比べると勉強も大変になるかもしれませんが、その充実実感も増えるので、心配する必要はないと思います。

【部活動は楽しい?】

僕は高校3年間ハンドボール部に所属していました。僕自身中学校の頃は文化系の科学部に入っていて、運動系の部活に憧れがあってハンドボール部に入りました。部活動では顧問の先生や学年の違う生徒との、クラスとは違う交流があります。いい仲間と出あって、練習したり、遠征に行ったりした日々は忘れられない経験になりました。僕の中で高校の一番の思い出は部活にあると言って過言ではありません。西高には多くの面白い部活があるので、ぜひ調べてみてください。

【西高で待ってます!!】

西高は勉強面をとっても生活面をとっても最高の先生方がいて、最高の行事があって本当に素敵な学校です!この時期は勉強がしんどいかもかもしれませんが、西高に受かったらどうしようかなと想像して頑張ってください。実際に西高生になったらその想像以上に楽しい生活が待っていると思います!ぜひ応援しています!

在校生が語る! 西高座談会

実際
どうなの?



なりさわ こは
成沢 琴羽さん
3年7組(札幌市立北条中学校出身)
野球部 マネージャー

【西高の魅力は?】

西高の魅力はメリハリがあって、何事にも全力で楽しんでいるところだと思います。私も中学生の頃から楽しみにしていた行事や、高校ならではの部活動、もちろん勉強もみんなそれぞれが頑張っています。そんな環境にいると「自分もなにかな頑張ってみよう」という気持ちになれて、入学した頃では考えられないようなチャレンジや成長ができたと思っています。また、先生方の授業も楽しく中学の頃とは勉強への捉え方が変わりました。周りの友達や先生方からたくさん刺激をもらって、素敵な高校生活を送ることができると思います!

【高校の勉強は大変?】

高いレベルの方が集まるように、高校での勉強は中学の頃とは大きく変わって苦戦することもありました。でも考え方を変えたら、周りの人たちから学ぶこともたくさんあります!そして分からないことがあれば先生方も親身になって教えてくださるので、どんな質問するなどして疑問は解決していいです。勉強は大変だと感じることもありますが、取り組み方と捉え方次第で楽しく学べます!まずは授業を大切に、友達と得意不得意を補い合いながら一緒に頑張りたい!

【部活動は楽しい?】

私は皆さんに部活動に入ることをおすすめします。私は入学当初は部活動には入らずに勉強に集中しようと考えていたのですが、部活動に入る西高生は多く、なによりクラスとは違った仲間がいて活動していることがうらやましくて現在は野球部のマネージャーをやっています。もちろん大変な時もありますが、同学年の仲間はもちろん先輩や後輩に出会えたこと、そして部活で得た学びは本当に大きいです。部活として活動できるのは高校生活が最後なので、ここでできない経験をぜひしてみてください。

【西高で待ってます!!】

高校生活に期待と不安を持っている方も多いと思います。でも西高は頑張ったよかったと思えるくらい充実した日々を送ることができるんです!素敵な仲間や楽しい行事が待っています。ぜひ西高で高校生活を送りませんか。受験の時期は私も辛かったですが、このパンフレットを読んで少しでも高校生活が楽しみになってくれたら嬉しいです。応援しています!



ひが ここ
比嘉 湖子さん
3年4組(平泉町立振内中学校出身)
オーケストラ部 部長

【西高の魅力は?】

西高の魅力といえば自由な校風と行事だと思います!西高には、厳しい校則がなく、私服で登校できるので自由に自分のことを表現できます。また自由といってもそれぞれの自律心のもとで成り立っているものなので、社会に出る前に大人として必要なことも学べる場になっていると思います。また行事については、単純に量が多いだけでなく、西高特有のユニークなものもたくさんあるのでとても楽しいです!

【高校の勉強は大変?】

私自身にとってですが、西高の勉強はとても大変です。しかしわからないところがあっても先生方に質問をしに行けばとても親切に教えてください、周りの友達も教えてくれます。また自習室や過去問がたくさん置いてある進路室もあります。このように西高には素晴らしい環境が整っているため、自分次第でどんどん成長できると思います。個人的な話になりますが、私はとても小さい町出身なので最初は周りのレベルの高さなどに不安に感じることもありましたが、今では、お互い高め合える友達や整った環境がある西高に入学できて本当によかったと思っています!

【部活動は楽しい?】

私はオーケストラ部に所属しています。西高の特徴的な行事の一つでもある校内のアトリウムで行われるアトリウム/パフォーマンスでの演奏はとても貴重で良い思い出です。ちなみに私は元々運動部出身でオーケストラ部に入部してはじめて楽器(ヴァイオリン)を習い始めました。なので大変なこともありましたが、年に一回の定期演奏会に向けて仲間と練習する日々があったからこそ濃い高校生活を送れたと思っています。西高にはたくさんの部活動があるので自分のやりたいことを必ず見つけられると思います!

【西高で待ってます!!】

西高では、日常生活、行事、部活、勉強どの面をとってもとても充実した価値ある高校生活を送ることができるんです!中学3年生になるといよいよ受験が近づいてきて辛いこともあると思います。そんな時はその先の西高でやりたいこと、楽しみたいこと、頑張りたいことを想像してみてください。辛い中頑張った先には入学してよかったと思える高校生活が待っています!応援しています!



おくやま しゅうや
奥山 嵩也さん
2年2組(江別市立野幌中学校出身)
生徒会執行委員会 生徒会長

【西高の魅力は?】

西高の最大の魅力は「生徒の力が試されること」だと思います!先生が生徒の活動に過干渉してくることはほとんどないです。そのため、自分のやってみたいことをやってみることができ、活動の幅を最大限に広げ、高校生活を楽しむことができます!また、「先生が親身であることも」魅力の一つであると思います。先生方は、とても話しやすい雰囲気の方で、勉強の質問、疑問はもちろんのこと、人生相談にも乗ってくれます。先生方の経験からもらえる貴重な意見が聞いてとてもためになります。

【高校の勉強は大変?】

授業数も多くて、進度も速いので正直大変です...ですが、めっちゃ課題を出されたりするわけではないです。そのため、「全科目のワークを3周しよう」とかをしない限り、難なく勉強と部活動、課外活動などと両立できると思います。ただ、テストはとても難しく感じます。特に英語ですね。私が苦手なものもあるんですけど、簡単に点数は取れないです。

【部活動は楽しい?】

とても楽しいです!私は生徒会執行委員会に所属しているのですが、西高の魅力のパートでも書いた通り自由に活動ができるため、生徒同士で相談してどうやって活動していくかを決めています。私はこの自分たちで考えて動くことに楽しさを感じています。生徒会以外にも部活動はたくさんあるので自分のやりたい部活、雰囲気合ったいる部活を見つけて楽しんでほしいです!

【西高で待ってます!!】

様々な楽しみ方がある高校生活ですが、西高ならそのほとんどを実現できる環境にあると思います!また、勉強の大変な踏ん張りどころと、めっちゃ楽しい行事が交互にくるので、気は休まらないですが、ずっと楽しい高校生活を送ることができると思います!ぜひ、最高に楽しい高校3年を一緒に西高で過ごしましょう!!!



日本のリーディングハイスクールを目指して

～創造性・独創性を育み、グローバル人材を育む教育活動～

本校の創立にあたって初代校長 善波 功は、北海道の小天地を目標とするのではなく、全国屈指の学校を目指していました。

現在も、その志を引き継ぎ、日本のリーディングハイスクールを目指して時代に応じた様々な教育活動に取り組んでいます。



第37代校長 相馬 利幸

アドミッション・ポリシー

本校は、1913年(大正2年)に北海道庁立第二札幌中学校として開校し、1950年(昭和25年)に男女共学の北海道札幌西高等学校と改称しました。来年の2025年(令和7年)には、創立113周年を迎える道内屈指の伝統校です。

校訓「自由 自律 叡智 創造」や西高実行精神「やることはやる やるときはやる やれるだけやる」のもと、自由闊達な校風を受け継ぎ、視野を広げ、豊かな人間性を育む様々な教育活動を推進して、多くの優れた人材を我が国のみならず世界に輩出してきました。

本校では「深く、しっかりと学び」を実践し、幅広い教養と将来の研究活動の基礎となる学力の定着を図り、持続可能な社会の構築に強い意志を持ち、リーダーシップを発揮して社会変革を担っていく人材の育成を目指した教育活動を推進しています。

そのため、次のような生徒の入学を期待しています。

【求める生徒像】

- ◆学業、人物ともに優れ、将来の夢や希望を実現させようとする強い意志がある生徒
- ◆旺盛な知的好奇心を持ち、自らの能力を活用して社会に貢献しようとする高い志を持っている生徒
- ◆国際交流や国際理解に強い関心を持ち、次世代を担うグローバル人材に必要な資質・能力を高めた生徒

カリキュラム・ポリシー

西高スタンダード「深く、しっかりと学び」の推進

幅広い教養、将来の研究活動の基礎となる学力の定着を図ります。視点で学習の深淵を極め、高い知性を備え、未知の状況にも対応で

「総合的な探究の時間」における探究活動

教科の枠を超えて、自分の追究したいテーマを設定して自由に「探究」していきます。校外への実地調査や取材、外部講師を招いてのレクチャーなど、深く思考する



第2学年の様子(R5年度)



第2学年の様子(R5年度)

西高プログレス(ポストSSH)「創造性・独

- 国際社会で活躍している方による講演会の実施
 - 進路講演会:著名な大学教授の講演(R5:立教大学「全員が主役のリーダーシップ:シェアド・リーダーシップのススメ」)
- 高大連携「科学技術系人材育成プログラム」
 - 札幌西高校地学巡検
 - サイエンスキャンプ
 - 研究室訪問→東京大学、北海道大学等
 - 科学に関する特別講義



道立講演会(R5年度)

SSH(スーパーサイエンスハイスクール)事業で開発したプログラムなどを活用し、

- 高大連携「医療系人材育成プログラム」
 - 医学セミナー → 札幌大&旭医大の講師による講演
 - 地域医療体験活動 → 旭医大と連携した病院実習

西高グローバル・エデュケーション

「グローバルな視野を育成する教育活動」の推進～R5年度 海外研修参加者27名
海外セミナーの開催や外国人研究者による講演会等を行うとともに、様々な海外研修への参加や海外留学を通じた国際交流を推進するなどグローバル人材の育成に取り組んでいます。



アイルランド研修(R5年度)

- アイルランド研修の実施(参加生徒16名)
滞在14日間で、現地高校の授業体験や大学訪問、博物館・世界遺産等での研修実施



シンガポール研修(R5年度)

- シンガポール研修の実施(参加生徒10名)
7日間にわたってアジアNo.1の大学NUSキャンパスツアー、日系企業見学、SDGs探究学習等を実施

- 海外セミナーの開催実績
 - フィンランド大使、アイルランド領事官来校(R4/R5)
 - 西高生国際交流の派遣実績(主な事業)
 - 北海道・アルバータ州高校生交換留学事業
 - トビタテ留学Japan日本代表プログラム(R4～1名)
 - オンラインシンガポール研修(R4～10名)
- ※R2～3年度は新型コロナウイルス感染防止のため、ほとんどの事業が中止になりました。

グラデュエーション・ポリシー

【育成を目指す資質・能力】

卒業までに、次のような人材になることを求めて日々の教育活動を行っています。

- ◆創造性や独創性にあふれ、高い知性と豊かな情操、強い志を兼ね備え、持続可能な社会の実現にリーダーシップを発揮できる人材
- ◆多様化した国際社会で主体的・協働的に生きる資質を身に付けた次代を担う人材

本校では、国や道からの支援や西高の支援団体である「一般財団法人札幌西高会」、「輔仁会」、「PTA」、「後援会」等からの支援も受けており、毎年、生徒の学習活動や諸活動(西高プログレスや西高グローバル・エデュケーション等)に取り組みやすい学習環境をつくるよう努めています。西高に入学者、将来、日本のみならず、世界で活躍する人材となる素養を身に付けましょう。



・ポリシー

また「総合的な探究の時間」などの探究活動を通して、教科横断的な思考力・判断力・表現力等を育成します。

活動

す。令和7年度入学生より1年次に週1単位、2年次に週2単位を教育課程に位置するための時間を確保しています。



第3学年の様子(R6年度)



第3学年の様子(R6年度)

創造性を開花させる教育活動」の推進



北大研究室訪問(高分子機能学専修)(R5年度)



サイエンスキャンプ(R5年度)

国際社会で通用する、高度な素養を備えた人材の育成に取り組んでいます。

- 理系コンテスト等への参加
 - 科学の甲子園北海道決勝大会出場
 - 物理チャレンジ&化学グランプリ
 - 青少年のための科学の祭典参加

「やれるだけやる」

絶対あきらめない!西高魂

大学合格は越えるハードルの一つ、その先の未来を描こう!

令和6年度入試【大学合格者数】

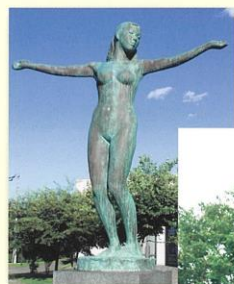
国公立大学 230名 (うち現役176名)			
北海道大学	70(56)	東京大学	2(1)
小樽商科大学	28(22)	お茶の水女子大学	1(1)
北海道教育大学	9(5)	東京外国語大学	1(1)
札幌医科大学 (医学)	3(2)	埼玉大学	3(2)
札幌医科大学 (保医)	4(4)	横浜国立大学	2(2)
公立はこだて未来大学	1(1)	静岡大学	7(6)
室蘭工業大学	5(4)	金沢大学	3(2)
旭川医科大学 (医学)	3(2)	京都大学	6(2)
千歳科学技術大学	4(2)	奈良女子大学	1(1)
札幌市立大学	3(3)	大阪大学	8(6)
弘前大学	8(8)	九州大学	3(3)
東北大学	7(5)	宮崎大学 (獣医)	1(1)
一橋大学	2(1)	東京都立大学	7(4)
千葉大学	2(0)	京都市立芸術大学	1(1)
など			
(うち国公立大学 医学科 6(4))			

※()内は現役合格者数

私立大学 449名 (うち現役335名)			
北海学園大学	61(47)	中央大学	24(18)
藤女子大学	4(4)	法政大学	31(17)
北星学園大学	7(7)	学習院大学	2(2)
北海道科学大学	24(19)	成蹊大学	2(2)
北海道医療大学	41(38)	成城大学	5(5)
天使大学	12(11)	武蔵野美術大学	4(3)
酪農学園大学	7(5)	津田塾大学	3(3)
早稲田大学	9(8)	明治学院大学	13(13)
慶應義塾大学	6(3)	芝浦工業大学	3(2)
上智大学	6(5)	日本大学	6(5)
東京理科大学	13(4)	同志社大学	12(9)
明治大学	12(7)	関西学院大学	10(6)
青山学院大学	7(5)	立命館大学	5(3)
立教大学	15(13)	関西大学	3(2)
など			

※()内は現役合格者数

多彩な分野で才能を発揮!わが西高の先輩たち (敬称略)



佐藤忠良作「蒼穹」



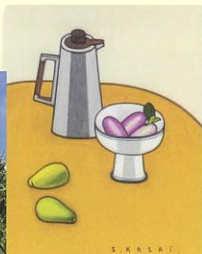
本郷新作「鶏を抱く女」



山内壮夫作「家族」



本田明二作「けものを背負う男」



笠井誠一作「水差しとかりんとあけびのある静物」



東京大学 文科三類 1年生
三浦 かなでさん (当別中学校出身)

大学生になってしばらく経ちましたが、高校生活は人生で二度と味わうことができない、大切で特別な時間だったなと改めて実感するようになりました。西高での3年間は本当に楽しかったです。大学の友達の話を聞いていても、こんなにたくさんの方々の行事一つ一つに一生懸命で、明るくて自由な校風の高校はあまりないと思います。1年を通してイベントが盛りだくさんで、自分にはないユニークな発想をする友達に囲まれて共に過ごすなかで、自分自身も大きく成長することができた環境が整っています。また、西高は楽しいだけでなく、進路実現に向けたサポートが手厚いことも魅力の一つです。「やることはやる、やる時はやる、やれるだけやる」という言葉の通り、部活やイベントと勉強の両立を一生懸命に頑張っている仲間がたくさんいます。この両立は決して簡単なことではないけれど、夢に向かって努力した経験は絶対無駄にはならないはずです。最後になりますが、皆さんの想像以上に、高校3年間は本当に本当にあっという間です。悔いのないように、全力で楽しんでください。皆さんが最高の西春を送れますように!



北海道大学 経済学部 1年生
藤森 功成さん (発寒中学校出身)

振り返ってみると、私の西高生活は非常に充実したものでありました。入学してすぐに企画してクラスみんなでやったお菓子パーティー、連日夜遅くまで生徒会室に籠もって仲間と成功させた西高祭、聞いたことのない競技がたくさんある運動会—ここには書ききることのできない多くの思い出があります。これらは自由な校風の下、自分の個性を表現しながら仲間たちと協力しようとする生徒の雰囲気に加え、生徒の自由でユニークなアイデアの実現を支えてくれる教職員のみなさまの存在によるものだと思います。突然ですが、私は西高生活に後悔していることもありません。西高ではシンガポール・アイルランドへの海外研修のプログラムがあり、完全に自由な活動ができる探究活動「WRAPS」もありません。西高には運動会やテスト前などに一緒に勉強できる環境を整えています。西高の掲げる自由とは「自分のことは自分で決める」という意味であり、それは自身の行動には責任が伴うということの意味です。大学ではこの力が必要で、西高はその力を養える場所になると思います。皆さんも西高で充実した高校生活を送りませんか?



札幌医科大学 医学部医学科 1年生
佐良士 和花さん (西野中学校出身)

札幌医科大学は道内勢が多いという特徴があり、道内の各高校の実際の生徒の様子と自分の思っていたイメージとを比べるのが面白いです。周りの友人の西高に対するイメージは、はっちゃけているように見えて根は真面目というものです。私も西高で3年間過ごしましたが、大学で出会った他校生徒と西高生を比較して、「やる時と楽しむ時のオンオフができる」のが西高生の特徴だと感じます。西高には運動会にはじまり、西高祭や体育大会などの学校行事、ハロウィンや節分などのイベントなど楽しみが多いです。その分、何もない期間やテスト前などの期間は、切り替えて勉強に集中できます。先生方との距離が近く、質問や悩みを聞きに行けば丁寧に相談ののってくださり、放課後の教室開放など友人とテスト前などに一緒に勉強できる環境も整っています。西高の掲げる自由とは「自分のことは自分で決める」という意味であり、それは自身の行動には責任が伴うということの意味です。大学ではこの力が必要で、西高はその力を養える場所になると思います。皆さんも西高で充実した高校生活を送りませんか?

- [二中8期] 坂本 直行 (画家、「六花亭」の包装紙のデザインなど) 本郷 新 (彫刻家、本校所蔵「鶏を抱く女」)
- [二中9期] 山内 壮夫 (彫刻家、本校所蔵「家族」)
- [二中14期] 佐藤 忠良 (彫刻家、本校所蔵「蒼穹」)
- [二中15期] 伊福部 昭 (作曲家、「ゴジラ」のテーマ曲など) 船山 馨 (小説家、吉川英治文学賞受賞、著書「石狩平野」など)
- [二中21期] 本田 明二 (彫刻家、本校所蔵「けものを背負う男」)
- [二中夜1期] 高橋 揆一郎 (小説家、芥川賞受賞、著書「伸子」など)
- [二中32期] 品田 雄吉 (映画評論家、元多摩美術大学名誉教授)
- [西高1期] 笠井 誠一 (画家、本校所蔵「水差しとかりんとあけびのある静物」) 森本 正夫 (経済学者、元北海学園理事長)

- [西高3期] 内山 斉 (元読売新聞グループ本社代表取締役社長)
- [西高5期] 李 恆成 (小説家、芥川賞受賞、著書「貼るうつ女」など)
- [西高7期] 蛇川 忠輝 (トヨタ自動車副社長、元日野自動車会長) 長瀬 清 (元北海道医師会会長)
- [西高8期] 川村 隆 (元日立製作所会長・社長)
- [西高9期] 大和田 榮治 (薬学者、元北海道薬科大学学長)
- [西高10期] 山内 亮史 (教育社会学者、元旭川大学学長) 横路 孝弘 (元衆議院議員、元北海道知事)
- [西高11期] 新川 昭夫 (元北海道医療大学学長)
- [西高12期] 上出 洋介 (オーロラ研究者、元名古屋大学名誉教授) 三郎 安紀子 (音楽家、北海道二期会理事長) 長沼 修 (元札幌市議会代表取締役社長、元北海道放送社長)

- [西高16期] 長沼 昭夫 ((株)きのこ代表取締役会長)
- [西高20期] 中田 昌樹 (指揮者)
- [西高24期] 田中 裕子 (女優) 成毛 真 (元日本マイクロソフト社長)
- [西高26期] 有末 真哉 (元三井生命(現大樹生命)会長・社長)
- [西高30期] 須藤 寿 (北海道税理士会会長)
- [西高31期] 谷村 志穂 (小説家、著書「海狼」「結核はいかに怖い病気か」など)
- [西高34期] 水口 哲也 (ゲームクリエイター、「セガリオン」など)
- [西高45期] 高谷 好位置 (恒一) (音楽プロデューサー、米津玄師、official髭男dismなどのプロデューサー) (西高卒業生) (著者「jyn」作曲)

「やることはやる、やれるだけやる」西高生 勉強の極意



[めざす生徒像]

- 1.自由闊達な校風を継承し、自律的精神を身に付けた生徒
- 2.豊かな情操と高い知性を身に付けた生徒
- 3.強靱な体力・気力を養い、活気ある明朗な生徒

[入学選抜について]

入学者の選抜に当たっては次に示す3つの方法で、合格者を決定します。

一般入試 選抜方法【募集人員】320名

- 学力点と学習点を同等に取り扱う選抜 募集人員の70%程度
- 学習点を重視した選抜 学力点:学習点=4:6 募集人員の15%程度
- 学力点を重視した選抜 学力点:学習点=10:0 募集人員の15%程度

キャリア教育

1年生は11月の「キャリア探究活動」に向けて、毎週「探究学習」に取り組みます。また、学問について考え、大学進学に向けてのモチベーションを上げる機会として、学校外の講師を招いての講演会や、北大等の研究室訪問を行っています。

探究活動

「総合的な探究の時間」において「探究活動」を行っています。すでに分かっていることを調べる「調べ学習」とは違い、分かっていないことを見つけ、その答えを探し求める「探究活動」を通して新しいことに挑戦する力を伸ばしていきます。



講習

長期休業中の講習のほか、3週間にわたり土曜日に実施される「土曜講習」、平日の放課後と土曜日で実施される「期間講習」があります。1年生では英・数・国の3教科を中心に、学年進行にともなって理科・地歴公民・情報も実施し、実戦力を養成するための体制を整えています。

模試

全国レベルで自分の実力を確かめます。結果を細かく分析したデータをもとにした、各教科の担当教員からのアドバイスやHR担任との個人面談により、進路目標を明確にしています。

日課表

登校	～ 8:25	昼休み	12:15～13:00
SHR	8:25～ 8:35	4校時	13:00～14:05
1校時	8:40～ 9:45	5校時	14:15～15:20
2校時	9:55～11:00	SHR	15:20～15:30
3校時	11:10～12:15		

学習

【授業】

- 1年間を前期・後期に分け、月曜日から金曜日まで5時間の学びの場を用意しています(令和7年度から、1コマの授業時間が65分になります)。

- 授業では基礎から大学入試で問われそうな高度な内容まで扱います。ペアワークやグループワークなどお互いの学び合いを通じて学習内容の理解を深め、また授業へは主体的かつ能動的に参加することが求められます。帰宅後はそれぞれの学習の定着状況に応じて、基本的事項の振り返りを行ったり、発展的な内容に挑戦したりなど、授業以外の場面で自ら時間を確保し学習する習慣を身に付けることが必要です。

【学力向上に向けて】

- 基礎・基本を確実に定着させるため、各教科では週末課題、単元テスト等を頻繁に実施しています。これらに対する日々の努力を3年間継続させることは、部活動・学校行事等にも積極的に参加しながらも、将来の夢を実現させる大きな土台となります。

- 朝の自習プリントの配布や、放課後の自習室の開放を行っています。

【3年間の学習指導】

●1年生

入学してまもなく生徒には「シラバス(授業概要)」を配布。高校で学ぶ教科・科目のガイダンスを行います。3年間を見通した学習計画を1年生の段階から立てます。まずは、授業の予習・復習などの基本的な家庭学習の習慣をしっかりと身に付けます。

●2年生

将来の進路希望に応じた、教科・科目選択授業を行います。毎日の授業を中心に、計画的な学習を進めながら、自分に合った勉強法をしっかりと身に付けます。大切なのは「知的好奇心を高めること」「自分で課題を見つけること」です。

●3年生

進路希望に応じて文型と理型に分かれます。1・2年の時に身に付いた基礎が花開き、学ぶ喜びを最も味わえる時期です。入試のための実戦的な勉強はもちろん、時には大学レベルに踏み込んで、高度な知識の習得を目指します。

教育課程

- 1・2年生で、英語・数学・国語の基礎・基本を確実に身に付けます。
- 3年生で、類型及び多様な選択科目の設定により、各自の進路に応じたより深い学習を行います。

*科目上の目盛りは週あたりの時間数を表します。

□点線囲み部分は選択教科などの、興味や進路希望に従って選択します。

1年生	2年生	3年生 文型	3年生 理型
1 現代の国語	1 論理国語	1 論理国語	1 論理国語
2 言語文化	2 古典探究	2 古典探究	2 古典探究
3 地理総合	3 公共	3 古典探究	3 古典探究
4 歴史総合	4 数学Ⅱ	4 古典探究	4 古典探究
5 数学Ⅰ	5 数学B	5 政治経済	5 政治経済
6 数学A	6 数学C	6 地理探究	6 地理探究
7 数学Ⅱ	7 化学基礎	7 世界史探究	7 世界史探究
8 化学基礎	8 物理基礎	8 日本史探究	8 日本史探究
9 生物基礎	9 英語コミュニケーションⅠ	9 発展公共	9 発展公共
10 論理・表現Ⅰ	10 論理・表現Ⅱ	10 数学Ⅲ	10 数学Ⅲ
11 家庭基礎	11 体育	11 数学C	11 数学C
12 体育	12 保健	12 数学Ⅱ	12 数学Ⅱ
13 保健	13 情報Ⅰ	13 数学Ⅲ	13 数学Ⅲ
14 芸術Ⅰ	14 総合的な探究の時間	14 数学Ⅲ	14 数学Ⅲ
15 総合的な探究の時間	15 LHR	15 数学Ⅲ	15 数学Ⅲ
16 LHR	16 LHR	16 数学Ⅲ	16 数学Ⅲ
		17 数学Ⅲ	17 数学Ⅲ
		18 数学Ⅲ	18 数学Ⅲ
		19 数学Ⅲ	19 数学Ⅲ
		20 数学Ⅲ	20 数学Ⅲ
		21 数学Ⅲ	21 数学Ⅲ
		22 数学Ⅲ	22 数学Ⅲ
		23 数学Ⅲ	23 数学Ⅲ
		24 数学Ⅲ	24 数学Ⅲ
		25 数学Ⅲ	25 数学Ⅲ
		26 数学Ⅲ	26 数学Ⅲ
		27 数学Ⅲ	27 数学Ⅲ
		28 数学Ⅲ	28 数学Ⅲ
		29 数学Ⅲ	29 数学Ⅲ
		30 数学Ⅲ	30 数学Ⅲ
		31 数学Ⅲ	31 数学Ⅲ
		32 数学Ⅲ	32 数学Ⅲ

	1年	2年	3年	
4月	課題確認テスト	進路希望調査	模試	模試…共通テスト対策模試・記述対策模試・大学別模試・小論文模試など、毎月1～2回のペースで実施しています。
5月	進路希望調査		土曜講習	
6月	科目選択	文理選択	期間講習	
7月	模試	定期考査	夏期講習	
8月	課題確認テスト		期間講習	
9月	土曜講習	定期考査	土曜講習	
10月	進路希望調査	進路別ガイダンス	進路希望調査	
11月	模試	定期考査	受検校調査	
12月	土曜講習	土曜講習	期間講習	
1月	冬期講習(前期)4日間		冬期講習(後期)4日間	
2月	課題確認テスト		模試	
3月	春期講習 5日間			

共通テスト
私立大学
国公立大2次
入試本番!

二兎でなく
三兎を追え

クローズ
アップ
2024

それぞれが研究テーマを自分で決めて活動しており、扱うテーマは理科全般の各分野にまたがっています。自然科学に興味があればどなたでも歓迎します。全国大会へも出場しています。

'18 第42回高文連全国大会(信州総文祭2018)出場

'19 日本化学会北海道支部奨励賞
日本学生科学賞受賞

'22 第18回日本物理学会Jセッション(全国大会)出場

西高祭での演奏や輔仁会館などでライブ活動を行っています。

何事も「やるときはやる」それが西高生

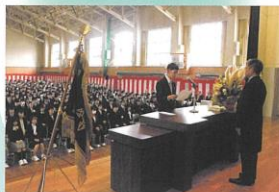


新入生歓迎会

生徒会執行委員会や部活動の先輩が、ユニークな企画で盛り上げます。



入学式



炊事遠足

工夫を凝らした様々なメニューが登場!



卒業式

式が終わる直前にかかる、卒業生の「ちょっと待った!」コールも恒例。優れた生徒には「善波賞」。笑いあり涙ありの卒業式。



運動会



▲お弁当スペシャル



高体連大会

大会に備え、ゴールデンウィークに練習試合や合宿を行う部活動も。



海外研修報告会

定期考査Ⅱ

September

体育大会



前期の最後を締めて、部活動を引退し、3年生も久し振りに燃えます。



くくる大会。3年生も久し振りに燃えます。

定期考査Ⅲ

November

見学旅行(2年)

東京・京都・奈良をめぐる3泊4日の旅。忘れられない思い出になるはず。



定期考査Ⅳ

February

大学入学共通テスト(3年)

いよいよ受験がスタート。「西高生は本番に強い」と定評あり!

かつては授業中の教室に、突然3年生が乱入して豆やお菓子をまいた、謎の伝統行事。ここ数年はアトリウムに鬼が出没!



定期考査Ⅰ

年4回の定期試験。「やるときはやる」の西高実行精神をまずここで発揮しよう。

August

July

西高祭

パワーがみなぎるビッグイベント。楽しむときは思いっきり楽しむのが西高流。



海外研修

長期休業中には海外研修を実施。アイルランドやシンガポールでホームステイやプレゼンテーション。



校舎中央のアトリウムでは各部活動によるパフォーマンス(通称「アトバ」)も。



クリスマスには、アトリウムでミニコンサートが催されます。



※これらの写真は予定された行事が実施された年度のもので。 12

西高創世記 二中から西高4万人の青春「百年の物語」より

札幌に2つ目の北海道庁立男子校として誕生

当時、札幌には北海道庁立の男子校は札幌中学(旧一中、現札幌南高)だけで、道内に4校しかなかった。札幌の人口が約9万人に膨れあがるとともに、子弟の教育熱も高まり、札幌中学の倍率が約4倍という狭き門となったことから、明治45年(1912年)、道内5番目の庁立男子校として、本校「北海道庁立第二札幌中学校」の開設が認可された。

札幌南高とは兄弟、北高・東高とも家族関係

明治45年(1912年)に、第二札幌中学(本校)と札幌中学(現札幌南高)が、1つの学校のようにまとまれて入学選抜が行われるとともに、札幌中学の校舎を利用して授業がスタートした。1学年5クラスのうち、甲、丙、戊の3クラスが札幌中学、乙と丁の2クラスが本校にあてがわれた。すなわち、札幌中学21期生と第二札幌中学1期生は、同じ試験で入学し同じ校舎同じ先生の下で学ぶ兄弟関係であった。

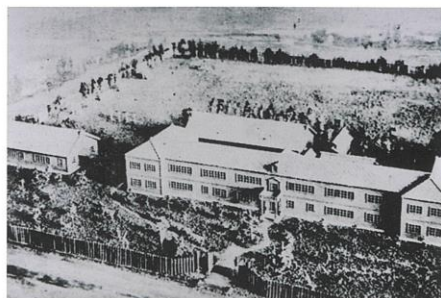
また、昭和25年(1950年)に、道立札幌第二高校(本校)と札幌第一高校(現札幌南高)、道立女子高(現札幌北高)、市立女子高(現札幌東高)の四校が、男女共学のため札幌東・西・南・北高に再編された。在校生は各校に強制的に移動させられ、級友と泣く泣く別れた。生徒は、移動しても前の学校が忘れられず、東西南北は家族のような関係と言える。

西高はいつも本道を代表するモダン校舎

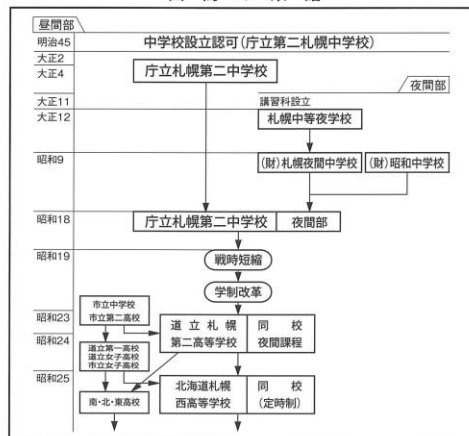
初代校舎は、大正2年(1913年)に北3条西18・19丁目に建設された。エメラルドグリーンのペンキに塗られた二階建ての当時としてはモダンで洒落た校舎であった。

二代目校舎は、初代校舎焼失により、昭和37年(1962年)に現在地に移転し建築された。お洒落なレンガづくりの校舎で、本道の公立高校のモデルとなるスチーム暖房・水洗式トイレが導入された。

そして、現在、二代目レンガ校舎の面影を正面に残しつつ、三層吹き抜けのアトリウムがあるW型校舎へと、お洒落な校舎の伝統がまた引き継がれた。



西高の系譜



たった3ヶ月でも好きになれるのが西高

初代校舎が、昭和35年(1960年)に火災に遭った。駆けつけた教師・生徒が立ち尽くす中、札幌市の消防車全25台が出動し消火に当たったものの、大半を焼失した。教職員・生徒に悲壮感漂う中、1年の女生徒2人が、焼け跡を呆然として歩いているとき、小さなチョークを見付け拾った。一人が、黒ずんだ廊下の外壁に「西校」と書いた。もう一人の生徒が、ぼんの少し前に、学校の横を通った他校生が「西高もなくったなあ」と言っていたのを思い出し、迷わず「消えず」と続けた。「たった3ヶ月の西高生でも、こんなに西高が好きなの、という思いをようやく誰かに伝えられたような気がした」と言う。この落書きは、西高生の母校を思う強い気持ちの表れであり、新聞に掲載された。



全国屈指の学校を目指して創立

初代校長善波功は、本校を創立するにあたり、北海道の小天地を目標にするのではなく、全国屈指の学校を目指していた。その結果、本校は北海道における模範校となり、当時、道庁ではこの学校を視察したらよいかと問われると、すぐに二中と答えるようになっていた。

善波は、礼節を重んじ生徒に徹底的にたたき込んだ。規律はかなり厳しく、特に服装には厳格であった。遅刻も厳禁である。しかも始業10分前に校門が閉じられた。男女交際など考えられない時代であるため、庁立高等女学校(現札幌北高)の寄宿舎のあった北側は通行禁止となっており、生徒は厳格に従っていた。このように、善波の指導の下、二中学生は礼儀正しく身だしなみがよくなったため、世間から「北海道の学習院」と呼ばれるようになっていた。



■校訓

「自由」とは、真理と正義を追求し、人格の完成をめざすための基本前提
「自律」とは、その自由を支える精神
「叡智」とは、創造力の基盤となる高い知性
そして、「創造」とは人類の平和と繁栄を希求し、豊かな文化をつくりあげる力。
シンプルな4つの単語に深く大きな意味を込めた西高の校訓は、先輩たちから脈々と受け継がれています。

■西高実行情神

西高生なら誰もが知っている合い言葉。
これに「やれなくてもやる」を付け加えて、叱咤激励する先生もいます。



西高を支援する4つの組織

①西高PTA

PTAは生徒の学校・家庭・社会生活の改善と向上を目的に、保護者と教職員で組織。学年・学級懇談会の実施、広報誌の発行、研修旅行の企画・実施、各種研修への参加や教育相談・行事・保健衛生・図書等、教育活動全般の振興事業支援を行っています。

②西高後援会

後援会は教育活動の推進への後援を目的に、保護者と賛助会員で組織。学校祭バザーの開催、部活動等大会出場生徒への遠征補助、引率教員旅費、部活動環境整備・物品支援、進路指導事業(講習・講演会開催、資料購入)、施設維持等を行っています。

③輔仁会(ほじんかい)

会員のネットワーク構築と西高の発展への寄与を目的に、卒業生等在学した者と名誉会員(教職員)による同窓会組織。輔仁会館(同窓会館)を有し、会の活動をはじめ、在校生の部活動や放課後自習室等で活用されています。10月には総会・懇親会を開催しています。

④一般財団法人 西高会

西高卒業生、PTA役員等を中心に理事や評議員を務める組織。奨学金制度、海外研修補助、学校林・学校花壇整備、部活動環境整備・物品支援等を行っています。また、「西高サポーターズカード」を発行し、その手数料収入を部活動等の助成にあてています。

